

先進事例 紹介

高校生一日消防学校体験入校の実施について

富山県広域消防防災センター
富山県消防学校

1 はじめに

富山県は、中部地方の日本海側、日本のほぼ中央部に位置し、面積4,247.62km²、人口は約108万人で、三方を山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径約50kmというまとまりのよい地形が特徴です。

また、アジア大陸や朝鮮半島など対岸諸国との古くからの交流の積み重ねを活かし、貿易や環境、文化など環日本海地域の拠点として活発な取組みを展開しています。

2 富山県広域消防防災センター・富山県消防学校

当施設は、平成24年4月1日にオープンし、平常時には「消防学校」として消防職団員等の教育訓練や一般県民向けの防災教育に取り組み、災害時には県の災害対策本部を補完する機能をもった施設となっております。特徴としては、高さ45mの主訓練塔や深さ10mの水底可動式潜水プール、実火災訓練棟など、複雑多様化する災害現場に対応した教育訓練が可能な全国トップクラスの訓練施設となっています。また、体験型学習施設「四季防災館」では、地震・流水・風雨などの自然災害や初期消火・煙からの避難など火災現場をリアルに体験学習することができます。

センター位置図



建物外観



上空からの施設全景

また、建物全体が耐震化されており、災害時には3日間連続運転できる自家発電装置、断水時でも使える井戸や1万人×3日間分の飲料水を確保できる耐震性貯水槽、非常食4万食などを備え、災害対策拠点施設や緊急消防援助隊の受援施設としての機能も備えております。

3 高校生一日消防学校体験入校(消防学校オープンスクール)

本年度の新規事業として、10月25日(土)～26日(日)の1泊2日にわたり富山県内の高校生21名を対象に一日消防学校体験入校を実施しました。高校生達は、午前10時から緊張感に包まれた中、校長訓示、学生宣誓等の入校式の後、消防や救助、防災などの体験をしました。以下は、各体験項目と参加学生の感想です。

◎四季防災館を体験して

- ・実際に起きた地震の体験ができて良かったです。災害の少ない富山県だからこそ、心の準備が必要に感じました。



四季防災館での地震体験

◎消防士としての規律ある行動の基本となる礼式訓練

- ・学校ではやらない礼式や礼儀を体験できて良かった。
- ・ここに来なかったら一生することのなかったような規律ある整列方法を教えていただき、とても気が引き締まった。



礼式訓練

◎災害時の応急処置

- ・竹2本と毛布1枚だけで、かなり強度の高い担架を作ることが学べた。
- ・三角巾は多用途で、棒やダンボールなどと一緒に使っ

て、骨折時の応急処置をすることもできることがわかった。



応急手当

◎避難迷路訓練

・迷路室は、想像していたより視界が悪く、火災現場の過酷さを感じた。見学と分かっているにもかかわらず、パニックになってしまったので、実際の火事では凄いことになってしまうと思った。



避難迷路訓練

◎エアテント取扱い

・分隊というグループに入って、仲間と共に協力し合うことで、一人で出来ないことも出来ると感じた。連携や声を出すということがとても重要だと感じた。



エアテントの取扱い

◎避難所作成・寝袋での睡眠

・避難所は、ダンボールとガムテープだけで作ったが、身近なものを最大限利用するのは大切だと感じた。
・消防士は、災害のときにいろんなところで寝ると思



避難所作成

うので、いい経験になった。

◎自己紹介・東日本大震災等の災害現場の話

・教官方の自己紹介は、みんなユーモアあふれていておもしろかった。
・災害現場の話は、実際に救助に行き体験した教官にしかできない話が聞けて、一層災害の大変さを感じた。

◎消火体験・救助体験

・思った以上に水圧が強く、後に押された。また、階段を上がるのが大変だった。ロープ渡りは、最後まで力が必要でとてもきつかったけど、人を助けたいという気持ちで乗り切った。



消火訓練



救助訓練（ロープ渡り）



高所からの消火訓練

◎全体を通しての意見や感想

・普段こんなに礼儀やあいさつに気をつけてけじめよく生活することがあまりなかったので、この体験で人間としてあたりまえのとても大切なことを教えてもらいよかったです。

・僕は消防士も将来考えている進路の一つなので、消防士について知ることができて良い体験でした。もし、自分に災害などが降りかかっても、ここで学んだことを活かして落ち着いて行動したいと思います。

・消防士の仕事の大変さを改めて知ることができたと同時に、そのようなやりがいがあることを仕事としていきたいと思いました。教官の「後片付け、声掛け、道具を大切に使う。」をこれからの生活に生かしたいと思います。

4 おわりに

今回、若年者に消防や防災への関心を高めてもらい、地域の安全安心に貢献できる人材の育成を図る観点で、実施しましたが、学生の訓練に取り組む姿勢やアンケートによる感想を見ると初期の目的が達成できたものと思っており、当施設の機能を十分に活かし、来年度もこの事業を継続したいと考えております。